佐賀市子ども・子育て会議
令和８年８月２０日
こども未来部　保育幼稚園課

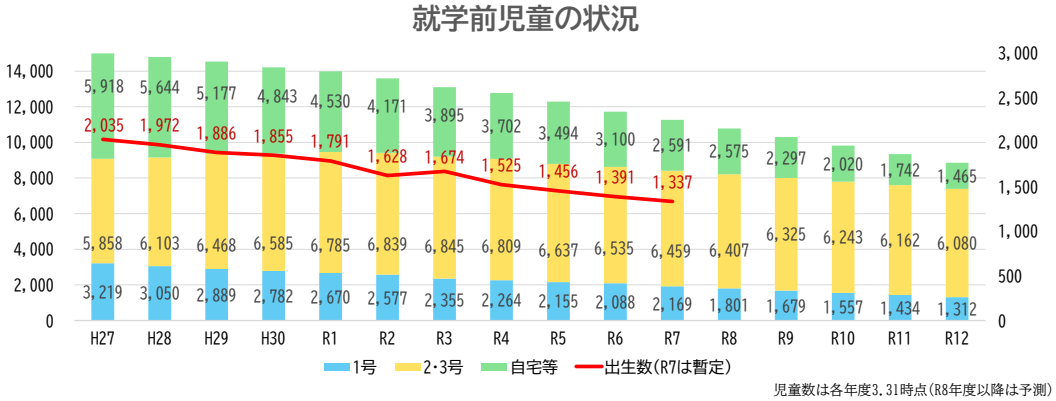
# 佐賀市公立保育施設のあり方検討委員会の経過報告



## 背景：保育需要

保育ニーズは「逓減傾向」

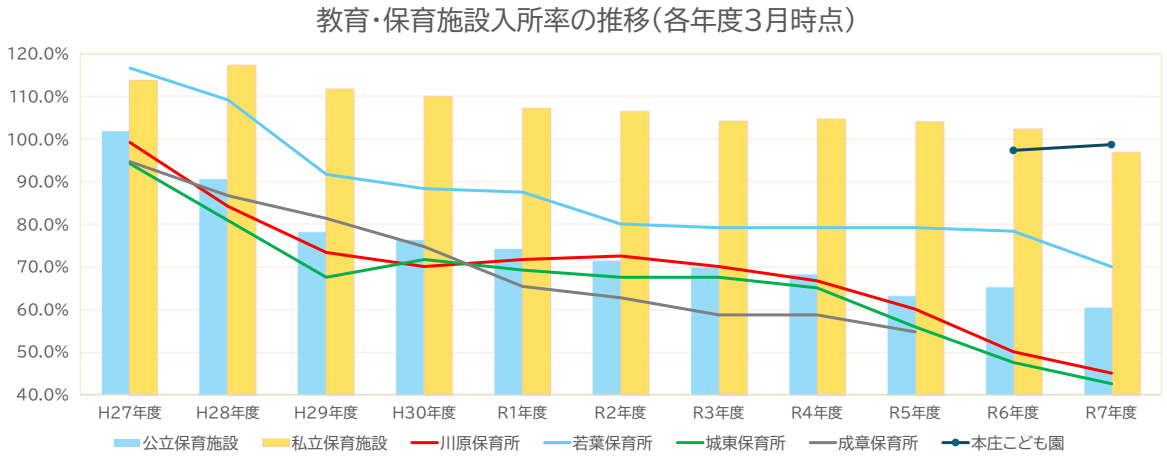
・少子化により就学前児童数は減少傾向
・保育施設を利用する児童（２・３号）も全体に占める割合は増加しているが減少
・出生数は大きく減少（H27 ⇒ R7 で698人減少）




児童数は各年度3.31時点（R8年度以降は予測）

## 背景：公立・私立保育施設の入所率（２号・３号）の推移

公立保育施設の低い入所率




※R8.4.1現在の公立保育施設（２号・３号認定児童）の入所状況（52.2%）
私立保育施設（２号・３号認定児童）の入所状況（87.8%）

3

3

## 背景：保育施設に求められる機能

保育施設に求められる機能等が増加

・子育て支援機能の充実や未就園児に対する支援
・幼保小連携、インクルーシブ保育等の実践
・障がい児や発達障がい児などの支援を要する児童の受入れ
・要保護児童などの家庭環境等に問題のある児童の受入れ　など

**通常保育** ＋ **多様化するニーズへの対応**

「公立保育施設」に求められる機能

〇市内保育施設の良好な運営を下支えしていくための効果的な取組
〇市民ニーズに呼応した様々な「子育て支援施策」への展開

4

4

## 現状のまとめ

【保育の現状】
〇保育ニーズは「逓減傾向」
〇一方で、保育施設に求められる機能等は増加

【公立保育施設】
〇公立保育施設の低い入所率
〇施設の老朽化
〇求められる機能の増加
・インクルーシブ保育、特別支援教育の実践　→　特別な配慮が必要な児童に対する保育
・子育て支援センターの機能強化　→　地域の全ての子どもが利用できる場の提供
・保育の質の確保、私立保育施設の支援強化
・地域連携や情報拠点として地域の子育てニーズの把握及び対応等



**人的・物的リソースを有効に活用する必要がある。**

5

5

## 公立保育施設のあり方についての検討

〇少子化の進行に伴い保育ニーズが逓減する一方で、公立保育施設には機能を多様化・高度化する役割が求められている。また、公立保育施設のうち、２つの施設については老朽化が進んでおり、今後施設の更新等が必要となってくる。

〇こうした状況を踏まえると、今後の公立保育施設については、単に施設を維持するのではなく、地域全体の保育提供体制や子育て支援機能のあり方を見据えながら、求められる保育需要に対応するためにも、**公立保育施設の機能を集約**し、公立保育施設の効率的かつ機能的な運営体制への転換を図る必要がある。

〇本検討委員会では公立保育施設の施設配置を含め、公立保育施設の機能や役割実践に向けて、あり方を総合的に検討する必要がある。

6

6